

福島県立南会津病院の概要

平成22年6月16日

1 当院の基本姿勢

(1) 県立病院基本理念

- ・親切、信頼、進歩

(2) 当院の基本理念 (H17. 4. 27改訂)

- ① 地域の皆様に信頼され、愛され、親しまれる病院を目指します
- ② 南会津地域の唯一の病院として、地域の医療・保健・福祉機関と連携し、へき地医療の中心的役割を担います
- ③ 地域の皆様の要望に応え、良質で安全な医療を提供します
- ④ 救急病院、地域災害医療センターとしての責務を果たします
- ⑤ 県立病院としての公共性を確保し、健全な病院経営に努めます

(3) 患者の皆様の権利に関する県立南会津病院宣言 (H18. 5. 31改訂)

- ① 皆様は必要かつ最善の医療を公平に受ける権利を有します
- ② 皆様は診療内容、治療方針とその危険性や副作用などの十分な説明を受ける権利を有します (ただし、必要に応じて主治医の判断により、ご家族や代理の方にお話しする場合があります)
- ③ 皆様は診療行為に対し、十分な説明を受けて、ご自身の意志により同意または拒否する権利を有します
- ④ 皆様はプライバシーが尊重される権利を有します
- ⑤ 皆様は今受けている検査、処置、治療、食事、看護、他の医療機関への転院、セカンド・オピニオンなどについて、ご自身の希望を述べる権利を有します

(4) 行動指針 (後述)

2 医療圏

(1) 南会津医療圏 3町1村 (下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町)

(2) 人口

H22. 4. 1現在の推計人口	30,281人 (県人口の1.5%、H17比で8.6%減)
H21. 4. 1現在の推計人口	30,832人
H20. 4. 1現在の推計人口	31,422人
H19. 4. 1現在の推計人口	32,019人
H18. 4. 1現在の推計人口	32,594人
H17. 4. 1現在の推計人口	33,135人
H16. 4. 1現在の推計人口	33,563人

(3) 高齢化率

65歳以上人口の構成比	36.7%	(県平均 24.9%)	(H22. 4. 1現在推計)
	36.3%	(県平均 24.5%)	(H21. 4. 1現在推計)
75歳以上人口の構成比	21.7%	(県平均 13.3%)	(H22. 4. 1現在推計)
	20.9%	(県平均 12.9%)	(H21. 4. 1現在推計)

(4) 面積 2,341.64km² (県土の17%、神奈川県に匹敵)

- ・尾瀬国立公園、越後三山只見国定公園、大川羽鳥及び只見柳津県立自然公園
- ・森林地帯 約93%
- ・特別豪雪地帯：南会津町のうち旧伊南村、旧南郷村、旧館岩村の区域、只見町、下郷町、檜枝岐村 豪雪地帯：南会津町のうち旧田島町の区域

3 南会津地域保健医療圏医療機関等 (H22. 4. 1現在)

(1) 病院 1

(2) 診療所 16：公営 3 (只見町、檜枝岐村、南会津町)

民営 13 (南会津町11、下郷町2)

※特別養護老人ホーム、保健所を除く

(3) 社会福祉施設

(ア) 介護老人福祉施設 5 (南会津町3、下郷町1、只見町1)

※協力病院として契約

(イ) 介護老人保健施設 2 (南会津町、只見町)

(ウ) 訪問看護 3 (南会津町、下郷町、只見町)

(エ) グループホーム 2 (南会津町、下郷町)

4 当院の病床数及び診療科等

(1) 許可病床数 100床 (H21. 3. 31変更 ←150床)

(2) 診療科 内科、神経内科、外科、産婦人科、小児科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、神経精神科、麻酔科

(3) 医師数

(ア) 常勤医 12名

内科 (5名)、外科 (2名)、整形外科 (2名)、耳鼻咽喉科 (1名)、眼科 (1名)、麻酔科 (1名)

(イ) 非常勤医

各種検査 (毎週木曜日 地域医療支援センターより)

神経内科 (毎週金曜日 県立会津総合病院より)

産婦人科 (毎週水曜日 小野木クリニックより)

(毎週木曜日 会津中央病院より)

小児科 (毎週月・火曜日 竹田総合病院より)

(毎週木・金曜日 県立医科大学医局より)

整形外科（毎週水曜日 県立医科大学医局より）
皮膚科（第1、第3木曜日 たてうまクリニック）
（第2木曜日 県立会津総合病院より）
神経精神科（不定期（水曜日） 県立会津総合病院より）

(4) 他院への診療応援：

内科（毎週木曜日 県立会津総合病院へ）
整形外科（毎月第1・3木曜日 只見町朝日診療所へ）
麻酔科（随時 県立会津総合病院へ）
日当直（随時 只見町朝日診療所へ）

5 各種研修の受け入れ

(1) 協力型医師臨床研修病院

自治医科大学：平成17年度 臨床研修医2年目3名（各3ヶ月）受入
県立医科大学：平成18年度 臨床研修医2年目2名（各3ヶ月）受入
平成19年度 臨床研修医2年目2名（各2ヶ月）受入
平成20年度 臨床研修医2年目2名（各3ヶ月）受入
平成21年度 臨床研修医2年目1名（1ヶ月）受入

(2) 医学部学生研修受入

自治医科大学：研修受入（1年生、5年生、夏期）
県立医科大学：H18年度 6年生BSLアドバンストコース6名受入
H19年度 6年生BSLアドバンストコース6名受入
H20年度 6年生BSLアドバンストコース4名受入
H21年度 6年生BSLアドバンストコース3名受入
H22年度 6年生BSLアドバンストコース4名受入

(3) 家庭医研修プログラム受入

県立医大の後期研修プログラム「家庭医療学専門医コース」の研修医受入
（H19.4.1～H20.3.31：高澤奈緒美、H20.5.1～H21.3.31：井上みき）

その他、母性看護学実習（会津若松看護専門学院）、薬学部学生の病院実習（東北大学薬学部、新潟薬科大学、北陸大学、共立薬科大学）、医療事務の実習（仙台医療福祉専門学校、名古屋お茶の水医療秘書福祉専門学院、郡山情報ビジネス専門学校）、理学療法の実習（東北文化学園大学、江戸川医療専門学校）、養護教員実習（國學院大學栃木短期大学）などの受入実績

6 救急活動

(1) 救急告示病院 (H11.4月～)

(2) 体制

医師 : 土・日・祝日の日直1～2名、当直1名

(ゴールデン・ウィーク、年末年始等は日直2名、当直1名体制)

看護師 : 土・日・祝日の日勤帯2～3名、準夜帯2名、深夜帯1名

放射線技師 : 土・日・祝日の日勤帯1名

医療事務 : 土・日・祝日の日勤帯1名

(ゴールデン・ウィーク及び年末年始は会計も可)

薬剤師 : 日・祝日の日勤帯1名 (H19.7.15より)

(3) 活動実績

救急車搬送件数 平成17年度 792台 (県立9病院1診療所全体の33.2%)

平成18年度 615台 (県立6病院全体の32.0%)

平成19年度 688台 (県立6病院全体の36.8%)

平成20年度 624台

平成21年度 691台

時間外取扱患者数 平成17年度 5,647人 (県立9病院1診療所全体の31.7%)

平成18年度 4,508人 (県立6病院全体の36.5%)

平成19年度 4,027人 (県立6病院全体の35.1%)

平成20年度 4,367人

平成21年度 3,841人

福島県ドクターヘリの搬送先医療機関の指定 (H20.1.28運行開始)

平成20年 2回受入 (H20/8/3、H20/8/10)

救急医療連携医療機関 会津中央病院・救命救急センター、竹田総合病院、
会津総合病院、(結核、精神科等は特定医療機関と連携)

7 人工透析

(1) 実施体制

1日2クールで実施 (月・水・金)

1クール : 8:30～15:00

2クール : 12:20～18:45

(2) 患者数 (平成22年4月現在)

当院の実患者数 32名

当院の延べ患者数 380名/月

医療圏内の患者数 (平成20年1月調査)

下郷町 22名、檜枝岐村 1名、只見町 4名、南会津町 36名

その他 4名 計 67名

(3) 設備状況

透析機器 19台

(平成19年9月から12台で運用していたが、増床工事を行い平成22年4月から7台増設した)

8 医療機関・自治体等との連携

- (1) 各種健（検）診、機能回復訓練事業、予防接種、健康教室、巡回相談、研修会、献血バス等
- (2) 病病連携：CT・MRI読影システム（平成11年度より竹田総合病院放射線科のワークステーションとISDN回線で結び、専門医による診断の迅速化）
- (3) 病診連携：CT、MRI、検体検査の委託受け入れ（地元開業医等）
- (4) 各種勉強会等の開催：南会津学術セミナー、南会津救急懇話会、院内感染対策勉強会など
- (5) 医療相談員の配置：紹介・逆紹介に伴う患者情報の管理と活用・紹介元への返信を医事で一括管理

9 病院機能評価の受審

平成17年度に（財）日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審（Ver. 5）
平成18年3月20日認定（認定期間：H18. 3. 20～H23. 3. 19）
平成23年3月の再認定（Ver. 6）に向けて、準備作業を進めている。

10 経営改善

- (1) 県立病院改革プランにかかる当院の主な取り組み

指針1 良質な医療サービスの提供

透析機器の増設、人間ドックの増、患者満足度の維持

指針2 収益確保と費用の削減による健全な病院経営

DPC病院移行の検討、未収金残高の減少、診療材料費等の削減

指針3 地域との連携・共生

紹介率の向上、学術セミナーの開催、ホームページの更新

指針4 医療提供体制の充実

臨床研修医の受入、医療安全研修会参加率の向上

指針5 職員の資質向上と人材育成

資格取得支援、職員提案制度の活用

- (2) 行動指針（職員から公募し採用者を表彰）

H22 ○笑顔で挨拶 返る言葉も 笑顔です

○改善をすすめる勇気 育む環境

○めざします！ 地域住民に愛される病院づくり

○「まあいい」と 思う心に ひそむ事故

○病院が変わるきっかけ、職員提案。

- (3) 職員提案

平成21年度から、毎年2月を職員提案月間に定めた